

装飾用素材として用いられるスリット糸(ラメ糸)には、アルミニウムが使用されています。
今回は、アルミニウムの変化によりスリット糸の金属光沢が消失した事例を紹介いたします。

監修／クリーニング総合研究所

素材
特性
に注意

着用・保管
取扱い
に注意

衣類の状態

セーターの背中などに脱色したような状態でグレーからベージュ色に変化している部分がある。

原因

スリット糸に蒸着していたアルミニウムが消失したことによるもの。
アルミニウムの消失部分には、塩素イオンが確認でき、着用中に付着した汗の成分などが作用したことにより生じた現象と推定される。

事故の防止対策

アルミニウムは水分などに弱い性質がある。着用中に付着した汗汚れなどの成分は湿気を吸収しやすいため、速やかに水処理を行い、十分に乾燥することが望ましい。
また、保管の際は湿気の多い場所や酸化窒素ガスとの接触を避けるなどの注意が必要だが、空気中に含まれている湿気やガスを完全に排除することは難しい。



背中部分が脱色したようになっている

スリット糸

スリット糸はポリエステルやナイロンのフィルムにアルミニウムを蒸着させ、細い糸状にしたもので、ラメ糸ともいう。
カクテルドレスやイブニングドレスなどのほか、セーターやカーディガン、ブラウス、ジャケットなど一般的な衣料品の装飾素材として幅広く用いられている。

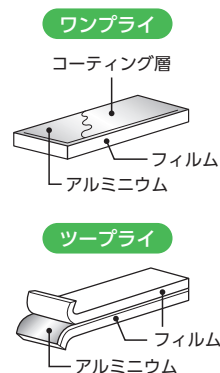
スリット糸使用製品の 取扱い注意事項

- スリット糸にはアルミニウムが使用されていることから、次のような注意を要する。
- アルミニウムは酸とアルカリの両方に弱いため、酸性、アルカリ性の薬剤などが作用しないように注意する
- 水洗いする場合は、中性洗剤を使用する
- 水分に弱いいため、湿気の多い環境での保管を避ける
- 燃焼により発生する酸化窒素ガスとの接触を避ける
- 白物のウール製品に残留している硫黄分がアルミニウムに作用することがあるため、白物のウール製品と接触しないように注意する

ワンピースとツープライ

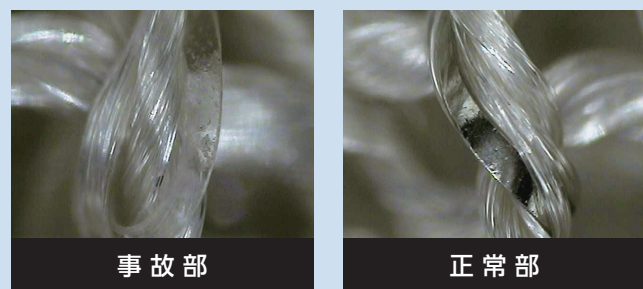
スリット糸には、ワンピースとツープライの2種類がある(図表1)。ワンピースはフィルムに蒸着したアルミニウムを樹脂でコーティングした構造、ツープライはフィルムに蒸着したアルミニウムをもう1枚のフィルムで挟み込んだ構造になっている。
構造上、ツープライの方がワンピースより水分や酸化窒素ガスの影響を受けにくい。

図表1 スリット糸の構造



※取扱表示は除去されていたため不明

顕微鏡写真



事故部のスリット糸はアルミニウムが消失している

●「衣料管理情報」は全ク連ホームページからPDFをダウンロードいただけます。
全ク連 HP <https://www.zenkuren.or.jp> 「お知らせ」→「衣料管理情報」